

新・ラグジュアリー

安西洋之、中野香織著



ラグジュアリーという言葉から、多くの人は富裕層に選ばれるためのぜいたく品やサービスを連想するだろう。しかし世代交代や主要経済圏の移動を背景に、従来の権威的なモデルが「旧型」になり、ローカル文化に基づいた新しいラグジュアリーが世界各国で生まれつつあるという。本書では、新しいラグジュアリーの方向性をつかむ上でヒントとなる事象や意見を取り上げている。

ポイントとなるのが「意味の創造」だと著者は考える。シヨパン国際ピアノコンクールの人

ローカル文化を基に勃興

賞者のピアノや、グッチ家の光と影を描いた映画「ハウス・オブ・グッチ」など最近の事例が、この難解なテーマを理解する上で効果的に引用されている。

興味深いのは、新しいラグジュアリーをつくるスタートアップの勃興だ。覇権を握ってきたフランス以外の地域、例えばハンガリーなどで注目の動きがうかがえる。一方、巨大コングロマリットもサブカルチャーやスポーツをも取り込み、新しい企業や才能を探している。

日本では、ラグジュアリーマネジメントに関する高度な教育が世界各地に存在することすらほぼ知られていない。しかし新しいラグジュアリーの萌芽があるという。今からでも参入が可能だとポジティブな風を感じられる。(インプレス・2068 円)